

# 令和6年度 埼玉県臨床検査精度管理調査 目標値・解答一覧表

令和6年10月18日

臨床化学検査			
No	項目	試料1	試料2
1	AST (JSCC: IU/L37°C)	39	129
2	AST (JSCC: IU/L37°C)	41	152
3	AST (JSCC: IU/L37°C)	73	176
4	AST (JSCC: IU/L37°C)	42	154
5	AST (JSCC: IU/L37°C)	93	305
6	AST (JSCC: IU/L37°C)	155	480
7	AST (JSCC: IU/L37°C)	212	369
8	AST (JSCC: IU/L37°C)	335	243
9	UN (Ure-UV :mg/dL)	19.9	48.3
10	CRE (酵素 :mg/dL)	0.82	2.88
11	UA (Uri-POD :mg/dL)	5.1	8.7
12	TG (FG消去法:mg/dL)	92	67
13	TCH (酵素法 :mg/dL)	200	144
14	HDL-C (直接法 :mg/dL)	66	48
15	LDL-C (直接法 :mg/dL)	113	81
16	TB (BOX etc :mg/dL)	0.9	3.5
17	Glu (HK :mg/dL)	83	243
18	TP (ビウレット :g/dL)	7.6	5.5
19	ALB (BCP改良 :g/dL)	4.8	3.4
20	Na (ISE :mmol/L)	151	131
21	K (ISE :mmol/L)	5.9	3.7
22	Cl (ISE :mmol/L)	115	96
23	Ca (アルセナリⅢ:mg/dL)	10.6	7.6
24	Fe (N-PSAP :μg/dL)	158	82
25	IP (酵素法 :mg/dL)	3.7	5.9
26	CRP (LTX比濁:mg/dL)	0.36	3.85
No	項目	試料3	試料4
27	HbA1c (NGSP :%)	5.8	11.0

血液検査			
No	項目	試料11	試料12
31	白血球数(×10 <sup>9</sup> /L)	3.1	7.6
32	赤血球数(×10 <sup>12</sup> /L)	5.34	2.40
33	ヘモグロビン量(g/dL)	16.2	6.1
34	ヘマトクリット値(%)	46.0	17.6
35	血小板数(×10 <sup>9</sup> /L)	136	329
血液検査フォトサーベイ			
写真	コードNo.	分類名	
1	1	骨髄芽球	
2	61	リンパ球	
3	127	有核赤血球	
4	17	*** 顆粒消失を伴う好中球	
5	154	非分葉・低分葉核巨核球	

血清検査		
No	項目	試料23
52	HBs抗原	陽性 (+)
53	HCV抗体	陽性 (+)

\*注意事項：全ての検査機器において結果が確認できているわけではありません。機器によっては結果が一致しない場合があります。詳細は後日刊行される報告書をご参照ください。

輸血検査			
No	項目	試料41	試料42
61	ABO式血液型	0	B
62	Rh式血液型	陽性	陽性
No	項目	試料43	試料44
63	抗体スクリーニング	陰性	陽性
No	項目	試料45	
64	抗体同定	抗E	

一般検査				
No	項目	方法	試料51	試料52
51	蛋白定量(mg/dL)	ピカロールット法	31.5	298.1
52	糖定量(mg/dL)	電極法/酵素法	103	512
一般検査フォトサーベイ				
写真	コード(表10)	理由(表11)		
問1	③			
問2	243	378, 322, 341		
問3	46	324, 327, 507		
問4	28	211, 507, 203		
問5	単核	個数	詳細分類	個数
		1	リンパ球	0
			単球	1
			マクロファージ	0
多核	3	好中球	3	
		好酸球	0	

微生物検査	
写真A	1005
写真B	1100
写真C	1057
写真D	1128
試料61(同定)	1004
試料62(同定)	1109
試料63(感受性)	<i>Staphylococcus aureus</i> MRSA (臨床分離株) ※評価はCLSI判定基準及び集計結果を考慮して行う。
試料64(感受性)	<i>Haemophilus influenzae</i> ATCC49247 ※評価はCLSI判定基準及び集計結果を考慮して行う。
試料65	グラム染色：805 推定菌種：1252

細胞診	
設問	推定病変
1	HSIL
2	AIS
3	D
4	B
5	D
6	B
7	C
8	B
9	E
10	A
11	E
12	C
13	B
14	E
15	D

病理フォト	
設問	解答
1	3
2	3
3	3
4	4
5	2
6	2

生 理 検 査 画 像 サ ー ベ イ

設問No.	項目	正答番号	選択肢	設問No.	項目	正答番号	選択肢
1	心電図1	③	心房粗動	14	心臓超音波1	③	c
2	心電図2	④	完全左脚ブロック	15	心臓超音波2	④	心房中隔欠損症
3	心電図3	④	I度房室ブロック	16	腹部超音波1	④	主膵管の著大な拡張を認め、膵管内に音響陰影を伴う高エコー像を認める。
4	心電図4	④	急性側壁心筋梗塞	17	腹部超音波1	①	慢性膵炎
5	心電図5	③	急性冠症候群(右冠動脈)	18	腹部超音波2	③ ④	胆嚢内腔に可動性のある隆起性の等エコー像を認める。 胆嚢内腔に後方エコー減弱を伴う高エコー像を認める。
6	心電図6	④	正常洞調律	19	腹部超音波2	③	胆石・胆泥
7	呼吸機能1	④	「大きく吐く際は、私が息を吸ってと言うまで息を吐きつけてください。」	20	体表超音波1	④	境界部低エコー帯は整である。
8	呼吸機能2	②	再現性は良好であり、3回目を採択する。	21	体表超音波1	①	乳頭癌
9	脳波1	①	光駆動反応	22	体表超音波2	⑤	内部に粗大石灰化を有する楕円形の低エコー腫瘤
10	脳波2	④	A(覚醒時)→D→B→C→E	23	体表超音波2	③	線維腺腫
11	脳波3	③	側頭葉てんかん	24	血管超音波1	⑤	ひらめ静脈
12	神経伝導速度	③	正中神経の手関節部の伝導障害	25	血管超音波2	③	偽腔よりも真腔の内腔は狭い。
13	神経伝導速度	①	手根管症候群				

— 臨床化学検査結果注意事項 —

※ドライケミストリーの想定値は試料のマトリックスの影響により上記結果と一致しない場合があります。

本試料はメーカーへも配布しておりますので値の確認はメーカーへ問合せください。

※HDL-C、LDL-C、HbA1cは一部の試薬間差を認めるため、最終報告書の平均値と異なる可能性があります。

※本結果は研究班施設による代表値ですので集団の平均値とは必ずしも一致しません。

※本結果から大きく外れている施設は早急に機器設定、試薬、標準品の確認等を行ってください。

1. 本結果は①標準化されているもの②埼臨技研究班で値付けができるもの③正解があらかじめ分かっているもの(フォトサーベイ等)のいずれかを満たすもののみを記載します。未記載項目は、2月に発刊される「R6年度報告書」をご参照ください。
2. 本一覧の、濃度・活性で示す結果は「目標値」であり必ずしも集団の平均値とは一致しません。
3. この結果に関するお問い合わせは手引き書に記載されている担当までお願いいたします。
4. 細胞診の結果は埼玉県臨床細胞学会の協力により掲載いたしました。
5. 生理部門画像結果は埼臨技生理部門精度管理アドバイザー(Dr)の協力により掲載しました。

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

会 長 松岡 優

精度管理委員長 山口 純也